

令和8年度前期 151美術I

- 1 使用教科書 「新高校生の美術1」(日本文教出版)
- 2 使用学習書 「高校生の美術1」(NHK出版)
- 3 使用教室 美術室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日				
1	5月20日(水)	鉛筆デッサン 「身近なものを描く」	5	P8~P11 P125~127	P8~9 P20~23					
2	6月17日(水)	美の秩序「色彩構成」	4	P58~59 P150~152	P69~71					
3	7月15日(水)	アニメーションの手法	16	P96~97 P148	P97~104					

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもてうらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-151-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」「スケッチボックス」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④ ★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、15点満点で採点します。
- ⑤ 制作課題がある場合、制作課題は必ず現物を提出すること。作品現物とレポートの両方が提出されないと提出されたとはみなしません。
- ⑥ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は美術Iの場合、「レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:面接指導:その他=30:10:60」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度前期 152美術Ⅱ(1)

- 1 使用教科書 「高校生の美術2」(日本文教出版)
- 2 使用学習書 「なし」
- 3 使用教室 美術室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	教科書 ページ	学習書 ページ	面接指導実施日				
1	5月20日(水)	錯視による不思議な世界	p.20~21	P8~9 P20~23					
2	6月17日(水)	情報を伝えるデザイン	p.42~43 p.76~77	P69~71					
3	7月15日(水)	奥行きや空間を捉える	p.8~9	P97~104					

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-152-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」「スケッチボックス」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④ ★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、15点満点で採点します。
- ⑤ 制作課題がある場合、制作課題は必ず現物を提出すること。作品現物とレポートの両方が提出されないと提出されたとはみなしません。
- ⑥ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は美術Ⅱ(1)の場合、「レポート中の主体的に学習に取り組む態度」の評価問題:面接指導:その他=30:10:60」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度前期 153美術Ⅱ(2)

- 1 使用教科書 「高校生の美術2」(日本文教出版)
- 2 使用学習書 なし
- 3 使用教室 美術室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	教科書 ページ	面接指導実施日				
1	5月20日(水)	水による演出	p.6~7					
2	6月17日(水)	言葉を超えて「ヒロシマの心」を訴えるポスター	p.40~41 p.68					
3	7月15日(水)	複数の写真で表す	p.54~55					

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもてうらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-153-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にして Teams で提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」「スケッチボックス」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④ ★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、15点満点で採点します。
- ⑤ 制作課題がある場合、制作課題は必ず現物を提出すること。作品現物とレポートの両方が提出されないと提出されたとみなしません。
- ⑥ 必要面接時間は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は美術Ⅱの場合、「レポート中の主体的に学習に取り組む態度」の評価問題；面接指導：その他=30:10:60(として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

NHKテレビ 高校講座 芸術 美術 I

2026年度 年間放送計画表 (案)

(2025年11月19日現在)

Eテレ 金曜日・隔週放送 午前11:10～11:30

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送順は放送局や放送地域などで変更になる場合があります。
※その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/17	1 アートって何?	<ul style="list-style-type: none"> ●アートの役割 ●デジタルとアナログ ●音楽とアート
5/1	2 美術館	<ul style="list-style-type: none"> ●美術館の役割 学芸員の役割 ●新しい美術館コンセプト
15	3 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ●美術の観察眼 ●鑑賞を楽しむ手がかり ●鑑賞に出って鑑賞する
29	4 色彩と感情	<ul style="list-style-type: none"> ●色彩から受ける印象 ●色の見え方の違い ●色の組み合わせ
6/12	5 光と影	<ul style="list-style-type: none"> ●光と影から受ける印象 ●光と影の役割 ●デジタルとアナログ
26	6 人を描く	<ul style="list-style-type: none"> ●人体を知る ●文芸によって異なる人の描き方 ●特徴を見つけ、誇張して描く
7/10	7 風景を描く	<ul style="list-style-type: none"> ●視点 ●遠近法 ●透視図法
24	8 建築と美術	<ul style="list-style-type: none"> ●建築の美しさ ●建築設計とは ●歴史と建築
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ鑑賞のための再放送などを 科目の期間枠をほなれて放送します。		
9/4	9 日本美術	<ul style="list-style-type: none"> ●カンイイアート ●琳派 ●浮世絵
18	10 複製	<ul style="list-style-type: none"> ●本物と複製 ●複製美術の歴史 ●現代の複製芸術
10/2	11 写真と絵画	<ul style="list-style-type: none"> ●写真がアートを変えた ●写真を作る ●記録する
16	12 アートとジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> ●性を描く ●歴史を持った女性たち ●SDGsとアート
30	13 デジタルアート	<ul style="list-style-type: none"> ●「動くアート」からの発展 ●デジタル技術の登場 ●デジタルとアナログの融合
11/13	14 文学	<ul style="list-style-type: none"> ●文学のアート ●文芸のアート ●伝わるアート
27	15 デジタルアートデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルアートとは ●デジタルとアナログ性 ●鑑賞のためのアート?
12/11	16 デジタルアートとアニメーション	<ul style="list-style-type: none"> ●絵を動かしたい! ●画と文学で表現する ●アニメーションとは
25	17 映像	<ul style="list-style-type: none"> ●アート作品としての映像 ●映像表現を楽しむ ●イメージを動きで表現する

※「タイトル/学習のポイント」は、制作の進捗で変更になる場合があります。

冬期講座		12月28日(月)～1月8日(金)	高校講座全体から選んだ鑑賞のための再放送などを 科目の期間枠をほなれて放送します。 ※12月31日～1月3日は休止です。
1/22	18 社会とアート	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と芸術 ●アートプロジェクト ●市民参加のアート制作 	
2/5	19 アートとSDGs	<ul style="list-style-type: none"> ●環境を伝えるアート ●環境とアート ●アートは何を伝えるか 	
19	20 これからの美術	<ul style="list-style-type: none"> ●命や生活を救うアート ●アートはどこに向かうか ●あなたにとってのアートとは? 	
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全体から選んだ鑑賞のための再放送などを 科目の期間枠をほなれて放送します。			